

# 平成19年度の事業報告書

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

## 第四期事業報告書

### I 事業期間

平成19年4月1日～平成20年3月31日

### II 事業の成果

第四期の当法人の活動は、他分野にまたがるネットワークの形成とともに、他者の記憶を聴き取り「場所のちから」を呼び起こすプロジェクトを行い、社会における「表現の可能性」をさらに拓くものとなりました。12月には拠点をフェスティバルゲートから西成区の商店街に移転し、いっそう地域と密着した活動となっています。

4月から12月までのオルタナティブスペースcocoroomをベースとした活動には、大阪市からの受託事業「就労支援cafeBAND cocoroom(8月～2月)」や、実行委員会形式で実施された「こころのたねとして(5月～3月:財団法人地域創造助成/大阪市)といった通年単位の事業があげられます。並行する形で、西成釜ヶ崎地区での取り組み「むすびプロジェクト」「大阪も～りもり 森村泰昌釜ヶ崎を語る」(大阪楽座事業)を実施しました。「むすびプロジェクト」の成果として、イギリスでの招聘公演があり、メディアでも大きく取り上げられ、生活保護受給者と高齢者問題へのアートのアプローチは国際的な評価を得ることとなりました。

アウトリーチにも活発に取り組み「こどもと障がいを持つ人とみんなのネットワークショップ」(麒麟福祉財団助成)、「まちのこどもアート」(JT、大阪コミュニティ財団助成)、障がいを持つ人とアーティスト、市民とともに取り組む「ちんどんチャンス！」(大阪市CB、大阪楽座事業)ではメディアにも多くとりあげられました。若手アーティスト支援のための取り組み「P.P.P.P.C.B.N.」、共同課外事業として「結いの田うじ」での稲刈りを実施いたしました。

また、就労支援カフェ事業は、専門家によるキャリア相談を行い、社会体験や職場体験へとつなぎ、就労へとステップを踏む成果をあげました。「アートによる包摂型就労支援モデル」を実践し、就業した人たちが事業やカフェに参加し、職場以外の場で人間関係のつながりをもつことが大切であるということがシンポジウムで確認されました。

今年度も、アートと社会をむすぶ包摂的モデルをつくりあげ、分断された個人や閉塞化した共同体を「アート」という手法でエンパワメントし、網の目のつながりを構築しました。そのさいアートはつなぎ役、媒介の役目を果たし、表現のもつ自律性によって互いに関わりあうことができます。つまり民主主義社会にとって、表現は欠かせず、これからの市民社会にとって重要な役割を果たすといえましょう。

しかしながら、非営利性の高い事業に取り組みつづけることは、運営基盤が脆弱なアートNPOには継続が難しいともいえます。事業委託や助成金の獲得、ボランティアの積極的な取り組み、また多くの応援ネットワークによって運営の基盤を得ることができましたが、

制度作りにも着手していく必要性を感じています。

活動の報告と広報を兼ねるフリーペーパー「ぼえ犬通信」を発行/配布し、インターネット上でもウェブサイト「Web cocoroom」を運営/管理、メールマガジン「ココルームからのお便り」を発行し、周知につとめています。

表現と社会をつなぐためのボトムアップとして、一般市民を対象とした詩のワークショップ「詩の学校」を大阪/京都で昨年度につづき継続開催。同ワークショップはその他の地域などでも、こどもや大人にむけて開催いたしました。視覚障害者施設でのワークショップは10月まで隔週で開催し終了しました。視覚障害者など、普段現代文学に親しむ機会の少ない方へのアウトリーチ活動として、公開小説朗読録音アーカイヴ事業「BooksArchives」は7月まで開催しました。

第四期の特徴として、フェスティバルゲートからの転居があげられます。

こえとことばを中心とした表現活動の活性化の場とメディア提供を目的として、新世界フェスティバルゲート内で、交流スペース「cocoroom」を運営/管理してきましたが、07年7月に営業を停止し、12月まで事務所機能のみとなり、年末に西成区と東淀川区に転居しました。西成区では、これまでの活動を評価してくださった地元の方の紹介で商店街のなかに賃貸契約をむすび、インフォショップ・カフェ ココルームとして事務所兼カフェを構えました。地域に密着した活動となっています。東淀川区のもと勤労者センターでは、アートスペース ココとして、ワークショップ事業を中心に実施しました。このスペースは大阪市の遊休施設を暫定的に使用しているものであり、09年3月には退去することが決まっています。転居のさいに専従職員のほとんどが退職し、新たな職員とともに活動がはじまりました。

当法人の得意とする手法は、とくに表現活動に従事しているわけではない人々がであり、ともに表現し作品づくりをする、という限界芸術的なアプローチです。そこにアーティストが介在することによって、ダイナミズムが生まれます。こういった取り組みは市民や各行政機関やメディアなどから、支持されている手応えを感じています。次年度もわたしたちの活動を幅広くネットワーク化していきながら、今後も、芸術振興と市民文化への貢献に務めていきます。

### Ⅲ 事業の実施状況

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 鑑賞及び発表機会提供事業

[事業名] 鑑賞及び発表機会提供事業  
[内 容] 「P.P.P.P.C.B.N.」ほか  
[実施場所] ココルーム  
[実施日時] 年度内で随時実施  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ¥310,000-  
[支 出] ¥664,529-

##### (2) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[事業名] 交流スペース及び市民相談窓口管理事業  
[内 容] 交流スペース「cocoroom」「就労支援cafecocoroom」を管理運営することにより、アンダーグラウンドアートの支援と、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによる包摂型就労支援の取り組みを実施した。(2007年度7月まで全日稼働)  
[実施場所] 7月31日まで  
大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409  
1月5日～3月31日  
大阪市西成区山王1-15-11  
[実施日時] 毎日12時から22時  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ¥1,838,700-  
[支 出] ¥946,332-

##### (3) 調査・研究とその発表の為に放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

[事業名] フリーペーパー発行及びウェブ制作事業  
[内 容] フリーペーパー「ぼえ犬通信」(隔月刊)発行とウェブページ「web cocoroom」を制作・管理・運営することにより、本NP0の事業内容の紹介と調査・研究内容の周知に務めた。  
[実施場所] 大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409  
[実施日時] 「ぼえ犬通信」12号～21号及び特別号3回・各5000～6500部発行  
「web cocoroom」随時更新  
メールマガジン「ぼえ犬通信」及び「cocoroomからのお便り」は隔週発行  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ¥0-  
[支 出] ¥183,692-

##### (4) 事業名 人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

[事業名] BOCKS ARCHIVE事業  
[内 容] 優れた現代文学などの朗読を公開でレコーディングして、デジタ

データとしてアーカイブ保存、視覚障害者などへも貸し出しを行った。(85夜～99夜)

[実施場所] 大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409号室

[実施日時] 7月までの月曜日の20:30～22:30(月間1回ペース)

[事業の対象者] 一般市民および視覚障害者

[事業名] ワークショップ人材派遣事業

[内 容] 「詩の学校」と題した詩のワークショップを大阪と京都でそれぞれ隔週開催。

視覚障害者施設などへのワークショップ人材を養成、派遣。アウトリーチ活動を事業化・継続できる仕組みづくりにつとめた。

[実施場所] 應典院(大阪市)、京都芸術センター(京都市)、日本ライトハウス(大阪市)など

[実施日時] 各月最終水曜日の19:30～21:30(應典院)、各月最終木曜日の19:00～21:00(京都芸術センター)、10月までの隔週金曜日の13:30～15:30(ライトハウス)

[事業の対象者] 一般市民、視覚障害者など

[事業名] 人材育成、教育プログラムおよびアウトリーチ事業

[内 容] 「ちんどんチャンス！」(大阪市 CB助成、大阪楽座事業)ほか

[実施場所] ココルーム(大阪市)、大阪府庁、アートスペースココ

[実施日時] 2007年10月～2008年3月

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ¥2,607,000-

[支 出] ¥3,185,636-

#### (5) アーツマネジメント普及の為のコンサルティング事業

[事業名] 芸術振興の為のイベントプロデュース事業

[内 容] 「大阪もへりもり」ほか

[実施場所] 中之島図書館 [大阪市]、など

[実施日時] 2007年8月

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ¥0-

[支 出] ¥140,340-

#### (6) 人と街と文化に焦点を置いた地域活性化事業

[事業名] 人と街と文化に焦点を置いた地域活性化事業

[内 容] 「こころのたねとして」ほか

[実施場所] フェスティバルゲート及び浪速区、阿倍野区、西成区の近隣

地域

[実施日時] 2007年5月～2008年3月

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ¥1,766,670

[支 出] ¥1,586,730

**[特記事項]**

尚、上記の非営利事業にかかる財源として、

- 1- 助成金等収入 ¥3,765,000
- 2- 寄付金等収入 ¥1,292,174
- 3- 事業受託収入 ¥4,599,475
- 4- 新規事業収入 ¥0
- 5- その他事業会計繰入金収入 ¥0

などを充当することで、管理を含め、事業展開を行った。

**2. その他の事業**

**[事業実施方針]**

遊休スペースを利用した喫茶事業、アーティストの作品等の販売事業、アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門事業を行うことで、その収益を特定非営利活動に係わる事業の運用資金に充てることを目的とする。

**(1) 喫茶事業**

**[事業名]** 喫茶事業

**[内 容]** 7月まで遊休スペースを利用してカフェを開設。(事業に係る収入と支出は非営利事業の中で計上) 6月からは“就労支援 cafe cocoroom”と銘打ち、市民相談窓口として本事業に変更。

**[実施場所]** 大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409号室

**[実施日時]** 12:00から22:30(2005年度全日稼働)

**[事業の対象者]** 一般市民

**[収 入]** ¥3,900,210-

**[支 出]** ¥1,315,195-

**(2) 販売事業**

**[事業名]** 販売事業

**[内 容]** アーティストの作品等を販売することで収益をあげる。

**[実施場所]** 大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409  
および当法人のウェブサイトなど

**[実施日時]** 不定休の12時から22時

**[事業の対象者]** 一般市民

**[収 入]** ¥0-

**[支 出]** ¥0-

**(3) クリエイティブ部門事業**

**[事業名]** クリエイティブ部門事業

**[内 容]** アーティストの派遣や制作請負いなどのクリエイティブ部門を開設し公共機関や一般企業相手の窓口となる。

**[実施場所]** 大阪市浪速区恵美須東3-4-36フェスティバルゲート409号室

**[実施日時]** 不定休の12時から23時

**[事業の対象者]** 一般市民

**[収 入]** ¥0-

[支 出] ¥0-

#### IV 社員総会の開催状況

理事会その他の役員会の開催状況

##### 第4回定時総会

[日 時] 2007年6月11日 16時から17時  
[場 所] 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート409号 cocoroom  
[社員総数] 15名  
[出席者数] 6名(委任状提出者4名)  
[内 容]  
第1号議案 2006年度事業報告書承認の件  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
第2号議案 2006年度決算承認並びに監査報告に関する承認の件  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
第3号議案 コールームの今後の展開について  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
報告事項 2007年度の事業計画及び収支予算報告の件  
議長の指名により、飯島秀司副代表理事から報告がなされた。

##### 臨時理事会・総会

[日 時] 2007年8月13日 20時30分から21時30分  
[場 所] 大阪市浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート409号 cocoroom  
[社員総数] 16名  
[出席者数] 7名(委任状提出者3名)  
[内 容]  
第1号議案 定款変更承認の件  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
第2号議案 2007年度・2008年度事業計画の変更及び  
2007年度・2008年度収支予算変更の件  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
第3号議案 新理事選任の件  
審議の結果、満場異議なく承認可決。  
報告事項 事務所移転についての説明  
最善策の選択を上田假奈代代表理事に一任することを全員一  
致で承認可決された。